

★ りぼん通信 ★

平成 29 年 9 月 2 0 日発行 第 7 号

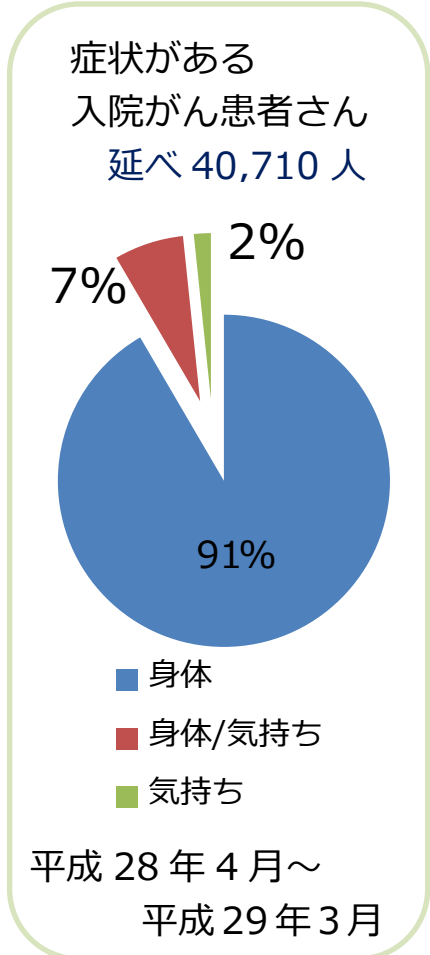
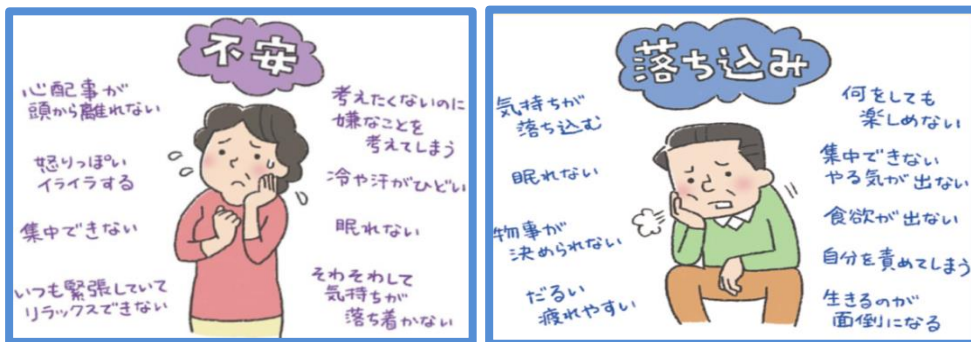
■発行元
緩和ケアセンター
■発行責任者
院長 藤野 安弘
■連絡先
青森県立中央病院
緩和ケアセンター
☎017-726-8111
内線 8568

気持ちのつらさ

医学の進歩によって、がんに対する様々な治療法、その症状に対する対策もしっかりできるようになってきました。

しかし、がんという言葉は、患者さんやご家族の心に大きな苦痛をもたらします。

がんが疑われたときや診断されたとき、治療の重大な局面に直面したとき、また闘病中など、苦痛を抱え込み過ぎると不安や落ち込みが強くなり、時に日常生活に影響をきたすこともあります。



心のケア

がんのストレスで心の専門家に相談することは大げさに感じるかもしれませんが、強い不安や気分の落ち込みが続くと、がんの治療を受けることや生きる意欲が奪われてしまいますし、何よりストレスを抱えながら過ごすこと自体が辛いことです。

今年度から緩和ケアチームのメンバーとして、臨床心理士が心のケアを専門に行なっています。一人で抱え込まず、信頼できる人や担当医・看護師、または緩和ケアチームにつらさを話してみてください。気持ちを言葉にし、誰かに聞いてもらうことは、不安や気分の落ち込みをやわらげるための大切な一歩です。

当院はこれからも患者さんにご家族の声に耳を傾け、患者さんにご家族の苦痛の緩和・治療に真摯に取り組んでまいります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

緩和ケアチーム専従看護師・緩和ケア認定看護師 廣瀬 公美